



5類に変更した新型コロナウイルスですが、またもや感染者増で第9波に突入したとか。えんの周辺でもポツポツと感染者が出ている上に、コロナ禍中にはなりを潜めていたインフルエンザなど他の感染症も、「待ってました！」とばかりに流行り、まだまだ安心できません。それでも、途絶えていた地域のお祭りや、えんの各事業所で催しものが再開されるなど、少しずつ人と人との交流が増えてきたのはうれしいことです。

そんな中、酷暑の夏が始まりました。特に認知症がある方は暑さへの対応ができず、エアコンを適切に使えない、水分補給が足りないなどは、一步間違えれば命にかかわります。「わたし、暑さに強いから」と言われる方が熱中症で救急搬送されることもよくあります。

日盛りに利用者宅を次々訪問するヘルパーも、この時期特に過酷です。先日、訪問ヘルパーがエアコンを使わない利用者さん宅で熱中症を起こし、責任者が駆け付ける事件がありました。暑さ対策を怠らずこの夏を乗り切りましょう。

さて、第21回定例総会のご報告です。久しぶりに約80人の参加者があり、コロナ禍前にはほぼ戻りました。回を重ねても総会は大仕事、終了するとホッとするやら、あれでよかったのかと反省するやらの繰り返しです。

2022年度事業報告

- *2022年度のトピックスは、第7波以後各事業所でクラスター感染が起きたことでした。えん通信74号で報告したように、グループホームえんのクラスター感染は入居者さんの一人が亡くなる事態になり、えん 20 年の中で最もつらい出来事でした。グループホームだけでなく、感染の波が重なるたびに増加する在宅療養に対応した訪問介護ケアサポートえんや、クラスター感染時にも何とか閉鎖せずに続けた多機能ホームまどかの奮闘も報告されました。
- *相談支援と基幹相談支援センターは、2021年度末ギリギリに新築事務所に引っ越し、2022年度からここで業務を開始しました。
- *そして、この2年目を迎えたばかりの基幹相談支援センターからの発案で、暮らしネット・えんは埼玉県下初の独自の相談支援従事者初任者研修を埼玉県より受託、公的な補助なしにもかかわらず講師や市内事業所の協力で最初の修了者11名を送り出すことができました。小さな貢献ではありますが、慢性的な相談支援従事者不足を解消し、必要な支援を受けられる基盤を作れたことをうれしく思います。
- *介護保険法改正作業の年度にあたり、改正作業では「史上最悪！の介護保険改定」と名付けるほどの改悪案が並びました。秋に急遽立ち上げた改悪反対のWEB集会、国会集会では、えんも国会集会の裏方を務めるなど活躍しまし